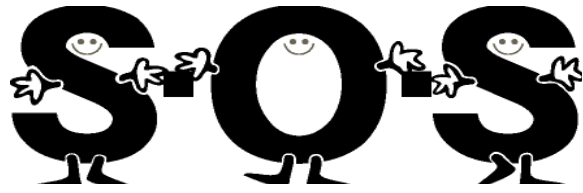


vol. 113通信 (平成22年1月10日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113 〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

今年も宜しくお願いします



あけましておめでとうございます
本年も宜しくお願い申し上げます

皆様の健やかな日々を祈念し、今年も社員一同
精を出して仕事に励みます。

S・O・Sの意味

S (サポート)	・支える ・手助けする ・元気づける
O (ワン)	・一人ひとりに対して ・たとえ一つのことでも
S (サービス)	・力を尽くす ・奉仕する



お金優先の現代社会、「清貧」という言葉は笑われるかも知れませんが、暮らしの中に「清く貧しく」という物差しを持ち、そして、S・O・Sの気持ちで人と関わる。

また、一人ひとりが自分の暮らし方を今一度見つめ直し、人への優しさと己自身に心のゆとりを持つ。



津島神社へ初詣

贅沢と人のおごりに対し、地球も愛想をつかし、いつ大地を揺らそうかと待ち構えているかも知れません。

悔いのない瞬間の継続。今年もそんな一年を過ごしたいものです。

代表取締役 飯尾淑子

《情報公表調査／訪問介護&通所介護》

年に一度、介護保険事業所を対象に調査があります。日常どのような業務を行っているのか約50項目にも及ぶ書類などを確認し、その結果がインターネット上で一般に公表されます。当社としては4回目。でも、今回、初めて対応した責任者は、日頃使い慣れない法令用語や言い回し、また、調査項目の捉え方の違い等にドギマギしてしまったり。いくら適正な業務を行っているつもりでも、書類としては記録に不備があったり、法令用語の理解が甘かったりと、毎年、多様な課題を突き詰められてしまいます。この情報公表調査、毎年1回とはいうもの



の、毎回、調査対象期間が変わります。年間計画等を作成する上でも、一定にして欲しいものです。

《「急なときだからこそ対応してもらえ...。」と確信してもらいたい／ナイス・ホーム》

登録して小規模多機能の利用に慣れてくると、何とな〜く定額制で利用が続いているかもしれない。年末31日〜1月3日まで通いと泊まりの予定あり。年末28日の朝、その方の家族から「親戚が危篤で、今日の様子次第で1泊させて...。」と電話が入りました。その日の予定は10:00〜の通いのみ。緊急と判断し、8:30には自宅に訪問、早めのお迎えで通いを利用。結局、その日の晩から1月1日まで連泊。家族は言います。「普段、何も無いときはええんだわ。何かあったときに馴染みの人たちに頼めるのが一番ありがたい。じゃなきゃ家では看れんよ。本当にありがとな。」



サポート・ワン・サービスのスタッフ(50音順)です。「笑顔・元気・感謝」を忘れず精進していきます。

大みそかはずっと違う時間の流れを感じます。愛宕の家ではおせち料理作りです。「最近出来合いを買っているから久しぶりに作るよ。上手く結べんなあ」と干びようと格闘。それでも手先は徐々に作っていたころの感覚を取り戻し、沢山の昆布巻きが出来上がりました。苦労しながら作っただけに達成感は大きく、その出来栄に女性陣はちょっと誇らしげでした。

《おせち作り/愛宕の家》



「㊦あることさ 物忘れ」と読み上げれば「あった！」の声と共にサツと手が出る光景。毎年この時期、カルタは人気のある行事のひとつです。読み人は腹から声を出す。参加者は耳を澄まし、目を凝らして絵札を探す。耳の遠い人の為に、読み札をかざすことも...。カルタは集中力、瞬発力だけでなく人への思いやりが必要な高度な競技だと感じます。この時ばかりは真剣勝負です。

《カルタ/ナイス・デイ》



《編集後記》

頑張ることはとても大切。でも、頑張り過ぎて自分で自分を追い詰めてしまったりはしようもありません。今年目標を考えた時、これまでよりももう少し余裕を持って生活していきたいと思えます。心も体も労わり自分を大切にしながら、変化も楽しみつつ同時に穏やかな気持ちで過ごしていきたいもの...。いつも締め切りギリギリになってしまうこの通信も余裕の期日で作る意気込みです！(来月から...) 今年もよろしくお願ひいたします。(M)